

・青森県知事賞

おにぎりだいすき

長島小学校（青森市）

一年 大柳裕也

ぼくのあさごはんは、まいにちきまっておにぎりです。

あさ、おかあさんが「おちゃわんにいれたごはんは、おにぎりどっちにする？」ときいて、ぼくはまいかい「おにぎりい！」とへんじをします。

おかあさんがつくるおにぎりは、ぼくがたべやすいようにすこしひらべったくて、ぼくがだいすきなちよつとあまいうめぼしがいっています。たまになかのぐが、しおこんぶだったりさけだつたりするので、きょうはなにかなとわくわくしながらたべます。となりですわっているおとうさんのおにぎりは、ぼくのよりおきくて、いつもそれがうらやましくて、はやくぼくもおとうさんみたいににおおきくなって、おおいおにぎりをたくさんたべたいとおもいます。

おかあさんがつくるおにぎりをたべると、ちからとげんきがいっぱいになります。だから、まいにちがつこうでたのしくあそんで、おべんきようもがんばっています。

ときどき、よるごはんもおにぎりにしてくれて、それもたのしみです。

えんそくでおともだちとたべたり、かぞくみんなでたべたりす

ると、おにぎりはもつとおいしくなります。

おかあさん、いつもぼくのためのとくべつなおにぎりをつくってくれてどうもありがとう。

あしたもまたつくってね。こんどはすっごくおおいおにぎりがたべたいな。

おかあさんのおにぎりだいすき！

